
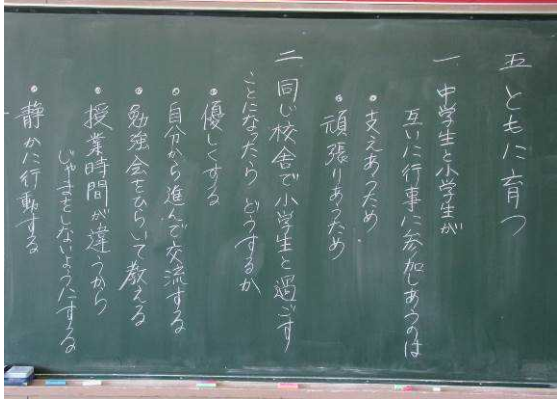


「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名 [仙台市立中野学校] 氏名 [色摩 理好] [中] 学校 [28] 年版 単元名 [ともに育つ] P18～19 教科・領域名 [道徳] [時間 50分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【ねらい】内容項目B-(6)思いやり, 人間愛 多くの人々の善意により日々の生活があることに気づき, 思いやりの心をもって人と接するとともに, 人間愛の精神を深める。</p> <p>1 P18を読み, 六郷中の生徒と東六郷小の児童が お互いの行事に参加し合っていることを知る。 ・仙台市津波避難エリアマップを見て, 東六郷小が被災したことを知る。 ・六郷中と東六郷小が近いことを地図で確認する。</p> <p>2 共に行事に参加し合う中学生と小学生の思いを 考える。</p> <p>3 同じ校舎で小学生と過ごすことになったら, どん なことを配慮するか考える。 ・優しく接する ・小学生を優先してあげる ・自分から進んで遊びに誘う ・勉強を教える</p> <p>4 人と人がともに生活する時, どんな思いを大切 にしなくてはいいか。</p> <p>・協力 ・思いやり ・励まし合う気持ち ・助け合う気持ち ・「お互いがお互いのために」 と思う気持ち</p>  <p>5 P19「4・お互いを思いやる気持ちを自然に」 の文章を読む。</p> <p>6 今日の授業を振り返り, 感想を書く。</p>	<p>【準備物】防災副読本, 仙台市津波避難エリア マップ, ワークシート</p>  <p>八乙女中学校と南光台小学校が同じ校舎で 過ごした時の実践例を紹介。</p> <p>・授業時間が違うためノーチャイムを実施 ・昼休みの校庭使用区割り(安全確保)等 具体的に考えるようになり, 当時の思いを更に真剣に想像する。 価値の一般化をはかる。 「小学生を優先する」「中学生は我慢する」 という生徒の発言を取り上げることで, ねら いに深く迫る。</p> <p>生徒の感想</p> <p>・思いやりの気持ちをもつと優しさが生まれ, 信頼し合ったり絆を深めたりすることがで けるようになることを学んだ。 ・自然に思いやれる人になりたい。 ・みんなが思いやって生活すれば, たくさんの ことができると思った。 ・思いやりの心が生まれると, みんなが良い気 持ちになることが分かった。 ・お互いを思いやること, 交流し合うことは大 切だと思った。</p>

「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

--	--